

広報

いわさき

第 22 号 H.20.1.24

発行：岩崎地区交流センター

管内人口 男 1,599人

12月未現在 女 1,662人

計 3,261人

年頭のあいさつ

岩崎地区交流センター長 及 川 一

新年明けましておめでとうございます。

本年は岩崎地区にとって様々な意味で再出発となる年にあたります。岩崎、煤孫、岩崎新田の三小学校が統合し、北上市立いわさき小学校として、四月に開校します。同時に岩崎地区交流センターが新築され、小学校の東側に移転します。また、交流センターの一角に学童保育所が開設されます。岩崎地区内の教育・文化・体育施設が岩崎城運動公園の敷地内に集約されることとなります。これだけの施設が一箇所に集まっている地区は、北上市内には見あたりません。北上市のモデル地区といっても過言ではないと思います。

平成20年は、新築・集約された施設の中で活動していくこととなります。岩崎地区交流センター運営委員会での企画・検討はもとより、地域の皆様のご意見ご要望を取り入れながら、職員一同一丸となって新しい交流センターでの事業を展開して参る所存です。岩崎地区の皆様の益々のご指導ご支援を賜りますようお願いを申しあげ、年頭の挨拶といたします。

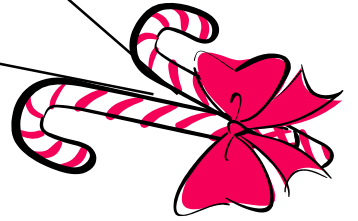


2がっ 予定

日	時	行事名	開催場所
2月 1日(金)	10時30分~	「あかし」運営委員会	岩崎地区交流センター
3日(日)	10時00分~	福豆節分会	鬼の館
5日(火)	9時30分~	料理教室	岩崎3区農業拠点施設
12日(火)	18時30分~	和賀町ファミリーボール大会 代表者会議	藤根地区交流センター
14日(木)	10時30分~	高齢者大学運営委員会	岩崎地区交流センター
17日(日)	9時00分~	和賀町ファミリーボール大会	和賀西小学校
27日(水)	18時30分~	交流センター運営委員会	岩崎地区交流センター



祝！成人おめでとう



北上市の成人式は、成人の日より1日早い1月13日(日)北上市交流センター「さくらホール」で開催されました。あいにくの雪模様でしたが、たくさんの方々が集いました。対象1,035人のうち岩崎地区交流センター管内から33人(男22人、女11人)が出席しました。

式典は、専修大学北上高校吹奏楽部のマーチング演奏でオープニングしました。ちなみに、ドラムメジャー(ドリルを行う時の指揮者)は、岩崎の後輩千田君でした。バトントワリングがカッコ良かった。成人者たちは、大いに盛り上がっていましたね。



インタビューされて何て答えてるのかな



色とりどりのはなやかなお振り袖姿、りりしい羽織袴姿やスーツ姿が見つけられ、久しぶりに会った友達との再会に話が尽きない様子でした。



オラほの地区の美人さんたちの集合で～す！



料理教室

今年もお雛さまの季節が近づいてきました。時間が経っても軟らかい白玉団子や、きなこねじりを作ってみませんか。

日時 2月5日(火)
午前9時半より
12時頃まで

場所

岩崎3区農業拠点施設

定員 10名

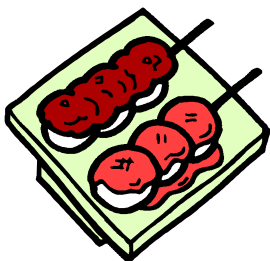
講師 高橋晴子(岩崎)

材料費 500円程度

申込み

岩崎地区交流センター

電話 73 6076





今年の目標は？

煤孫 2 区

13日(日) 上煤孫公民館を会場に、ふれあいデイサービスとわんぱく学園共同で、小正月行事のみずき団子作りをしました。おじいちゃん・おばあちゃんにお手伝いしてもらい、臼で餅つきをしました。最近どの家庭でも機械で餅をつくのではないでしょうか。子どもたちは興味深々で、杵を使いペタンペタン頑張っていました。きれいに出来上がったミズキ飾りを見ながら、みんなでお餅をご馳走になりました。



高齢者大学



講演中の池田氏

17日(木)、今年度地区学習最後となる高齢者大学が開催されました。池田友敬氏(平和記念展示館館長)を迎え、「7、000通の軍事郵便と平和への願い」と題して講演していただきました。平和記念展示館では、故高橋峯次郎氏が収集した日中戦争や太平洋戦争に出征した農民兵士の軍事郵便や遺族から寄贈された戦争体験に関する貴重な資料が展示されています。

戦争の悲惨な実相を知り、

戦いながらも家族に宛てた故郷を思う農民兵士の手紙の話を聞きながら、後世に伝えて行かなければならない平和の大切さを学びました。

午後は100まで歩ける筋力トレーニングと題して、フォルダの菊池さんを講師に、健康教室を開催。椅子に座った状態でのストレッチ体操や、ボールを使った運動など、いつでもどこでも出来る気軽な運動を教わりました。参加者はボールを使う運動が特に気に入ったようでした。継続は健康維持の力になります。



なんたら、思つようにいかねじや。

押し花のランチョマット

高齢大合同閉講式

日時 3月5日(水)
場所 和賀町農村環境改善センター



沢山の花に、あれもこれもと欲がでました。

18日(金)、農村就業改善センターで、佐藤さん(煤孫)が押し花に加工したものをアレンジし、ランチョマットを作りました。小さな頃のイメージでは、押し花は茶色でした。ところが佐藤さんの押し花は、乾燥した花なのに色鮮やかで不思議。魔法のシートがあるらしいのですが、次回に教えていただくことにしました。

歩道設置工事に伴う交通規制についてのお知らせ



交流センターへの通行に関して、お知らせいたします。工事作業のため坂の上り口から運動公園入り口までの区間が、2月2日(土)から7日(木)までの間、通行止めとなります。交流センターにご用の方は、新田方面への坂を上り運動公園へ左折し、新しい校舎前を通って右折してください。ご迷惑をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

平成19年度 北上市民俗芸能発表会

とき 2月17日(日) 開場 12:30 開演 13:00
 ところ 北上市文化交流センター
 さくらホール 中ホール
 入場料 無 料
 出演団体 5 団体(出演順は未定)
 岩崎鬼剣舞(岩崎) 立花念仏剣舞(立花)
 下糠塚権現舞(滑田) 早池峰獄流綾内神楽(口内)
 北上御諏訪太鼓(諏訪町)
 問い合わせ 文化財課文化財係
 電話 65-0098



ふるさとの生んだ人材 (20) 岩崎風土記より

田村嘉機氏

明治二十六年八月、岩崎深山、田村直樹氏の長男として生まれる。明治四十五年三月、県立一関中学校卒業、大正五年三月東京農業大学高等科卒業後、愛知県農業技手、帝都復興局技手、朝鮮総督府農業試験場技手、鳥取県農林技師、農地開発営団技師、青森県三本木農業学校教諭等を歴任されたが、その間その功績により正七位高等官六等に除せられた。昭和二十年十月、岩崎二前神社社司に補せられ、岩崎二前神社の宮司となり、鬼柳町鎮座見渡神社、八幡神社、白髭神社の宮司を兼務した。

この間に旧岩崎村助役として村政に尽瘁され、岩崎文化協会会長、和賀町文化財専門委員として町の文化の開発に従事された。

一方、植物の研究者として弛まざる研究を続けられ、国内同好家の間に広く知られているほどの篤学であったが、昭和四十一年六月二十六日七十三歳をもって逝去せらる。